

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 7 月 3 日

評価対象事業		評価者	こどもみらい課担当課長 永野 英樹		
こども-08	重点事業	公立保育所整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こどもみらい課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備	

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・建替え等が必要な公立保育所の整備を行った。 ・津波対策を優先した、材木座・稲瀬川保育園の移転先として、由比ガ浜の市有地に子ども関連の複合施設整備を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	58,931	335,051	当初予算(千円)	299,985	当初予算とは別に28年度から29年度への繰越予算がある(723,026千円)。	
	国県支出金		1,600	国県支出金	5,955		
	地方債		183,300	地方債	189,100		
	その他			その他			
	一般財源	58,931	150,151	一般財源	104,930		
事業経費運営	人員配置数	1.8	1.5	人員配置数	1.3		
	人件費(千円)	14,817	11,871	人件費(千円)	10,793		
	総事業費(千円)	73,748	346,922	総事業費(千円)	310,778		
	市民1人当りの経費(円)	416	1,961	市民1人当りの経費(円)	1,761		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	(仮称)由比ガ浜こどもセンターの建設が本格化した平成27年度から予算規模は拡大してきたが、平成29年度で施設整備が終了することから、今後、予算規模は縮小する見込み。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	重要で緊急度が高い事業であることから、関係各課とより緊密な連携を図りながら、事業の確実な推進に努める。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)由比ガ浜こどもセンターの建設に向けて埋蔵文化財調査の完了 ・稲瀬川保育園、材木座保育園の津波対策並びに鎌倉地域における待機児童対策。また、鎌倉地域における子育て支援センターの拡充及び障害のある子どもたちのための訓練の場所づくり。 	
課題解決のために行った平成28年度の取組	平成27年度から継続していた(仮称)由比ガ浜こどもセンター建設地における埋蔵文化財調査を完了した。 (仮称)由比ガ浜こどもセンター建設工事および建設工事監理業務に着手した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	(仮称)由比ガ浜こどもセンター建設工事の竣工。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成28年4月1日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	44	55	89	0	0	9	7	6	19

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、いまだ、待機児童は多く発生しているため、施設整備により定員の総数は据え置くものの、待機児童は多い。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数	単位	人	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められるため	目標値	5	3	1	0	0	0
	実績値	55	50	44			
	達成率	9.1%	6.0%	2.3%			

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	(仮称)由比ガ浜こどもセンターの建設にあわせて、定員構成の変更を行い、待機児童数の多い低年齢児の定員を多くすることで、鎌倉地域の待機児童の対応に資する。
-----------------------	--